

第11回生活科学系コンソーシアムシンポジウム

テーマ：With/Post コロナ社会と人の生活－生活科学からみた課題と取組－

日時：2022年5月22日(日) 13時30分～16時25分

場所：オンライン開催(Zoom)

申込方法：5月15日(日)までに以下のサイトからお申し込みください。

<https://forms.gle/i1VPs3sU8qyxhoe36>

定員：300名(申込先着順)

参加費：無料

趣旨：

コロナ禍が長期化する中で、我々は様々な生活変化を経験しています。これまでの生活にあった課題や矛盾も顕在化しています。このようなWithコロナ時代の現状を正しく認識し、ここを乗り越えてより健康で豊かで安全・安心なPostコロナの時代を築いていくには何が求められるでしょうか。今回は、このテーマで実施する第2回目のシンポジウムです。生活科学系コンソーシアムの5つの構成学会から、Withコロナ/Postコロナ社会と人の生活を生活科学の視点から考え、その課題と取組について報告し、その後意見交換を行います。

13:30～13:35 開会挨拶

杉山久仁子(生活科学系コンソーシアム会長、横浜国立大学教授)

13:35～14:00 With/Postコロナ社会における家庭科教育の役割

志村結美(日本家庭科教育学会理事、山梨大学教授)

14:00～14:25 デジタル広告に対峙する消費者教育－観点の整理

岩本諭(日本消費者教育学会理事、佐賀大学教授)

14:25～14:50 子ども食堂、フードバンク、フードパントリーの現状とこれからの課題
－利用者の声から－

古庄律(日本食品科学工学会会員、東京農業大学教授)

14:50～15:00 休憩

15:00～15:25 食を介するコミュニケーションのゆくえ－調理学実習を通して－

綾部園子(日本調理科学会会長、高崎健康福祉大学教授)

15:25～15:50 コロナ禍における保育現場の現状と対応

－保育士間の同僚性、協働性に着目して－

花輪充(日本保育学会評議員、東京家政大学教授)

15:50～16:20 ディスカッション

16:20～16:25 閉会挨拶

守髓香(生活科学系コンソーシアム副会長、共立女子大学教授)

お問い合わせ先：生活科学系コンソーシアム事務局

[lifescicons\[at\]gmail.com](mailto:lifescicons[at]gmail.com) ([at]を@に置き換えて下さい)